「日本		-T -							7月11日	/ ///		ートフースを	1 L L	
### 20 日本のでは、	<u> </u>						煝	•						
5.		1.国産						国内生産量	の推移	(千頭:%)	農水省出荷	5予測	(千頭:%)	
(中の子の下の機能は、200年時後後期間に対しています。 (中の子の下の機能は、200年年後後間では、200年年後後間では、200年年後後間では、200年年後後間では、200年年後の関係では、200年年後の関係では、200年年後の関係では、200年年後のでは、200年年後の関係では、200年年後のでは、200年年後の関係では、200年年後のでは、200年年をでは、200年年後のでは、200年年後のでは、200年年後のでは、200年年後のでは、200年年後のでは、200年年後のでは、200年年後のでは、200年年後のでは、200年年後のでは、200年年後のでは、200年年後のでは、200年年後のでは、200年年後のでは、200年年後のでは、200年年後のでは、200年年をでは、200年年後のでは、200年年後のでは、200年年をでは、200年年後のでは、200年年をでは、200			地域別と畜頭数(数値は前年同月比);北海道	道104.2%、東北94.5%、関東	束98.1%、北陸甲信越94.2%、東	頁海101.9%、近畿100.9%、中四国105.:	3%、九州・沖縄101.8%	歴年.	国内と		歴任	出荷	予測	
### 1 日本の			○ 6月の全国と畜頭数は、1,205千頭(速報値6月	月30日まで集計、前年比9	0.8%)と前年を下回る見込みと	なった。		/6 —	千頭	前年比	/日十	頭数	前年比	
10.7.1.4.9 「中国 (1973)、11.1.1.4.2 「日本の土田の (1974)、金田の (1974)、 1.0.2 1.0.			なお、稼働日数は昨年より2日少なく、1日当た	たりの平均と畜頭数は60,2	60頭(前年実績:60,326頭/日	、前年差▲66頭/日)となった。		R2年	16,686	102.2	R6年 7月	1,294	104	
19.11 144 年後1月1953、1月17 147 日前1999、1999、全部が1から全体機能は無常に上部のもあった。			○ 肉豚生産出荷予測(農水省食肉鶏卵課;6月2	24日付け)によると、7月;	1,294千頭(前年比104%)、8月	;1,294千頭(同100%)、9月;1,324千頭	頁(同102%)、	R3年	16,836	100.9	R6年 8月	1,294	100	
□ 2 月の東京人間が開から、関連があります。「衛生に関係を、他月があり、一般のおりから、 田田であたと、かたではつかく、大かと同り間に、関係を関係していてかった。「関係はら、大かとのでは、関係は、ケッケの、カケッケのでは、大かく、大かとのでは、関係は、カケッケの、カケッケの、大かとのでは、関係は、カケッケの、カケッケの、大かとのでは、関係は、カケッケの、カケッ			10月:1,446千頭(同101%)、11月:1,472千頭((同99%)であり、今後5か月	目間の合計頭数は前年比約10	1%と前年を上回る見込み。			1 :					
## (1974年) (2 齢 7							1					
□割からたと、チットではカナリ、ベンコが高加、美国36年(現内30年、アンマーケ、カナタが自加、メイン、メクロの検討した。		2・井川ノへ				6)となった			1					
(京が大理整別は「四別権人設置)				• •	* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	, - ·	ノコが減小した		1		110年11月	1,414	99	
サルド ・ プラグに1年に代表に対して、	供								1 1					
ファース・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・	給								1 1					
□ (物語と連接機構物の衛子名(利用から火力に込んと)別の権人及(利用・デー (領申比印の場所)、月の権人及(東の神)、(利用・原)の(1996)と6月、月月られ上居の全地点は14年。									1,360	99.6				
フィドは、食料機能の影響であった。以前の表面にあった。これで、17年とに有いでは、18年とは一つでは、18年には、			フローズン ;スペイン18.0千 、(前年比93.6%)、米国10.9千、(同160.7%)、デンマーク6.9千、(同106.5%)、メキシコ6.0千、(同80.8%)、カナダ5.6千、(同172.3%)											
上間合と見込とは、ファーベンは、単年項目の組入ががなかったという。18、7月とれに即年间月を上回合と見込んでいる。 3が 単等的では、大作性子間の2分、プラーベンは上間合と見込んでいる。 からお写くのは、合質性というと対し、プラードの11・1チェ(第100.4分)、フェーベンが出手し、(間100.5分) からわっては、音性ないす。(情性を10.5分)、プランドの30.4 年、(間10.5分) 10.5 位に 10.			○ (独)農畜産業振興機構の需給予測(6月26日2)と6月、7月ともに上回ると見込まれる。	輸入量の推	移	(by • %)	財務省:通	関実績	ı				
20			チルドは、現地相場高の影響で減少が見込まれる米国産の代替としてカナダ産輸入量の増加の他、価格優位性によるメキシコ産輸入量の増加が見込まれることから、6月、7月ともに前年同						輸入数量		チルド数量			
中部の中子子、他が生化の主が、フ・トバッコに下、(前回の18分)、フロースンの36子、(何日の59分) 中部の中子子、会社8の中子、(前中210条の)・ア・(前中210条の)・ア・スタス・スタス			上回ると見込まれる。フローズンは、昨年同月]の輸入量が少なかったこ	とから、6月、7月ともに前年同	月を上回ると見込んでいる。			トン	前年比	トン	前年比		
会師作り、合称作の19~2時代は19~90、元本作30.9千年(同20.2 1%)、フロースペ21千)(同11(20.9%) 10.2 1%)、フロースペ21千)(同11(20.9%) 10.2 2%)、フロースペ21千)(同11(20.9%) 10.2 2%)、フロースペ31・デン (同10.2 1%)、フロースペ31・デン (同10.2 1%)、コロースペ31・デン (同10.2 1%)、同10.2 1% (3か月平均では、チルドは下回り、フローズンド	は上回ると見込んでいる。				R2年	891,807	93.0	416,334	102.2		
会和年 7月・治神&の下・(前年比10.9%)、チルド30 9下・(同10.21%)、ファー×ンパ2.1下・(同110.9%)			令和6年 6月:合計84.7千%(前年比104.2%))、チルド31.1千り(同100	.4%)、フローズン53.6千ヶ(同	司106.5%)		R3年	903,455	101.3	420,361	101.0	•	
□ 点にあり、日のアール 平安治・会計後にかけ、信仰生化の原がら、テルドカエア・「同田の原がら、フロースターのリア・信刊10.2%)			令和6年 7月:合計83.0千%(前年比110.9%))、チルド30.9千~(同102	.1%)、フローズン52.1千、(同	1116.9%)		-						
1.家計									i i		ĺ			
選求		1 安弘					1100 1%) トナさり		1 :					
2 小売物前 5 日本ス・バーマーケッド協会など食品関連ス・バー3回体の5月の販売報計運搬による上、畜産部門の党上商は1,214.5億円(前手地の.熱、既存場ペース98.68)と前申並かとなった。前月が成立が不完が強、住て必めから類は、事業がでは、核力の場が成立と不可強が、使して必めら数は、事業がでは、核力の場が成立と不可強が、使して必めら数は、事業がでは、大きこと、金融制の表と作している。と、など、大きのないの場がではなど、大きに、大きのようが表も、とは、大きのようが表も、とは、大きのようには、おきのようにはは、おきのようにはは、おきのようにはは、おきのようにはは、おきのようにはは、おきのようにはは、おきのようにはは、おきのようにはは、おきのようにはは、おきのようにはは、おきのようにはは、おきのようにはは、おきのようにはは、おきのようにはは、おきのようにはは、おきのようにはは、おきのようにはは、おきのようにはは、おきのようには、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、						11年20.17%、 人 田亚银/5-2,142[1]([F.	1100.1707 273 7		1		ĺ			
5月福汐 お見かが担い大きが大説が代表、作べの場のみの場所を乗び入ったが表した。他が内の場合が展していることで、各体的に変もが関いていることで、ものがは変もが明した。地方では、第一次というでは、104.0 33.549 95.6 連帯やベラーさなどはあが入った。移向は、か同的は、ため、自力に関いている。では、第一次というでは、自力に関いている。では、第一次というでは、自力に関いている。では、第一次というでは、自力に関いている。では、第一次というでは、自力に関いている。では、第一次というでは、自力に関いている。では、第一次というでは、自力に関いている。では、第一次というでは、自力に関いている。では、第一次というでは、自力に関いている。では、第一次というでは、自力に関いている。では、第一次というでは、自力に関いている。では、第一次というでは、自力に関いている。では、第一次というでは、自力に関いている。では、自力に対している。に対している。自己に対している。に対している。に対している。に対している。に対している。自己に対している。に対しているに対している。に対しているに対している。に対しているに対している。に対しているに対しているに対している。に対しているに対しているに対しているに対している。に対しているに対しているに対しているに対している。に対しているに対し			AFF VEX ENCOUNTY ENGLISH (MEDITO QUELLA QUEL						1 :		1			
# 携内ペスケーキなどは勢が良かった。服内は、小間切れや心き肉など値ごろな高材に需要が集中し、鶏肉は販売が伸長している。加工肉は極上げの影響で不振とする結論が多い。									1					
□ 日本チェーンストで報会が公表した5月販売機別によると、畜産品の売上は851.8億円(店舗調整後で前年比99.8%)となり、前年並みとなった。 場内の動きは見かったが、午肉、豚肉の動きは強かった。場頭、ハム・ソーセージの動きは減かった。 第北・関東地区を中心に川荷頭数が減少したことで、高給はひっ迫した。 第北・関東地区を中心に川荷頭数が減少したことで、高給はひっ迫した。 第北・関東地区を中心に川荷頭数が減少したことで、高給はひっ迫した。 10.0 日本ハム・ソーセージで、業権同群会養表の5月の豚肉加工品仕向量は29.6千。(前年比106.5%)とかった。 (前年) 日本ハム・ソーセージで、業権同群会養表の5月の豚肉加工品仕向量は29.6千。(前年比106.5%)とかった。 (前年) 日本ハム・ソーセージで、業権同群会養表の5月の豚肉加工品仕向量は29.6千。(前年比106.5%)とかった。 (前年) 日本ハム・ソーセージで、業権同群会養表の5月の豚肉加工品仕向量は29.6千。(前年比106.5%)とかった。 (市産 22.253) 98.8 23.3533 103.4 (お中生 22.231) 98.8 33.5533 103.4 (お中生 22.2313 98.8 33.5		5月 概况	1901/10							104.0	33,549	95.6		
 高機のの動きは良かったが、牛肉、豚肉の動きは飽かった。鍋卵、ハム・ソーセージの動きは飽かった。 場内の動きは良かったが、牛肉、豚肉の動きは飽かったが、鼻卵、ハム・ソーセージの動きは絶かった。 場別者の節節は高が落まっていること加え、権雨時期に入ったことで消費が続くなったものの、昨年の猛暑による生産性の低下と豚熱等の発生から、東北・関東地区を中心に出荷頭数が減少したこと、需給はかっ迫した。 3.加工内 (自力 エル・ソーセージ工業協同組合発表の5月の豚肉加工品仕向量は29.6千°)(前年比106.9%)と、加工品の値上げによる販売不振は続くが、前年を上回った。														
接触性の関連性性の関連性性の関連性性の関連性性の関連性性の関連性性の関連性性の関連	雲			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		で前年比99.8%)となり、前年並みとなっ	った。		()	(ラ,円,%)			1	
6月報収 ○ 指表者の節約志向が高まっていると加え、権制時期に入ったことで消費が軽くなったものの、昨年の猛暑による生産性の低下と豚熱等の発生から、東北・関東地区を中心に出荷頭数が減少したことで、需給はひっ迫した。 3.加工商	要							暦年		全国1†	世帯当り			
日本ペム・ソーセーシ丁業協同組合発表の5月の豚肉加工品仕向量は29.6千'、(前年比106.9%)と、加工品の値上げによる販売不振は続くが、前年を上回った。 R4年 22,559 98.2 31,892 97.1 R4年 22,297 98.8 32,487 101.9 R5年 22,031 98.8 33,553 103.4 R5年 22,031 98.8 33,553 103.4 R5年 22,031 98.8 33,553 103.5 R5年 22,031 98.8 33,553 103.4 R5年 22,031 98.8 33,553 103.5 R5年 24,90 R54 P.		6月概況	○ 消費者の節約志向が高まっていること加え、梅雨時期に入ったことで消費が鈍くなったものの、昨年の猛暑による生産性の低下と豚熱等の発生から、						数量	前年比	金額	前年比		
3.加工肉 仕向量 仕向量 (1.86年)			東北・関東地区を中心に出荷頭数が減少したことで、需給はひっ迫した。							108.5	32,861	110.9		
3.加工肉 仕向量 仕向量 (1.86年)							R3年	22,559	98.2	31,892	97.1			
仕向量 内訳は、国産原料5.8千°、(前年比108.5%)・輸入原料23.8千°、(同106.5%)となった。		3.加工肉	灯 ○ 日本ハム・ソーセージ工業協同組合発表の5月の豚肉加工品仕向量は29.6千~(前年比106.9%)と、加工品の値上げによる販売不振は続くが、前年を上回った。							98.8	32,487	101.9		
大きな、上記仕向量とは別枠のシーズンドボークは9.0千°、(前年比92.4%)と、前年を下回った。			上向量 内訳は、国産原料5.8千˚չ(前年比108.5%)・輸入原料23.8千˚չ(同106.5%)となった。								1	103.4	•	
1.在庫 (独)農畜産業振興機構の需給予測(6月26日公表)によると、5月末の推定期末在庫量は214.2千'。(前年比87.7%、前月比108.9%)となり、前年を下回った。		121.12												
世 内訳は、輸入品;189.9年'、(前年比84.8%、前月比109.1%)と前年を下回り、国産品;24.2千'、(同120.0%、同106.6%)と前年を上回った。 また、今後の期末在庫は、6月は217.8千'、(同89.0%)、7月は219.0千'、(同90.9%)と前年を下回って推移するものと見られる。		1 在唐									1			
また、今後の期末在庫は、6月は217.8千。(同89.0%)、7月は219.0千。(同90.9%)と前年を下回って推移するものと見られる。 R6年 5月	左	±•门上/牛·												
加工品仕向量 (千°)・% 市況の推移(東京市場)(円/kg°%) 市況の推移(東京市場)(円/kg°%) 市況の推移(東京市場)(円/kg°%) 市況の推移(東京市場)(円/kg°%) 市況の推移(東京市場)(円/kg°%) 市別の推移(東京市場)(円/kg°%) 市別の推りによる。 本別の推移(東京市場)(円/kg°%) 市別の推移(東京市場)(円/kg°%) 市別の推移(東京市場)(円/kg°%) 市別の推移(東京市場)(円/kg°%) 市別の推移(東京市場)(円/kg°%) 市別の推移(東京市場)(円/kg°%) 市別の推移(東京市場)(円/kg°%) 市別の推移(東京市場)(円/kg°%) 市別の推移(東京市場)(円/kg°%) 市別の推移(東京市場)(円/kg°%) 市別の上のによると前年比利の第2年により出荷頭数が減少したことで、 本別の上のによると前年比利の第2年により出荷頭数が減少したことで、 市別の上のによると前年比利の第2年により出荷頭数が減少したことで、 市別の上のによると前年比利の第2年により出荷頭数が減少したことで、 市別の上のによると前年比利の上のによると前年比利の第2年により出荷頭数が減少したことで、 市別の上のによると前年比利の推定はよると前年比利の推定はよると前年比利の推定はよると前年比利の推定はよると前年比利の第2年により推定はよると前年によりによると前年によりによると前年によりによると前年によりによると対域を表表します。 市別の上のによると前年によりによると対域を表表します。 市別の上のによると対域を表表します。 市別の上のによると対域を表表します。 市別の上のによると対域を表表します。 市別の上のによると対域を表表します。 市別の上のによると対域を表表します。 市別の上のによると対域を表表します。 市別の上のによると対域を表表します。 市別の推定はよりによると対域を表表します。 市別の推定はよりによると対域を表表します。 市別の推定は表表します。 市別の推定はよるによるによるによるによるによるによるによるによるによるによるによるによるによ	1工								1		1			
R6年7月 1.R6年6月 連報値 6月の東京市場校肉卸売価格 (速報値;6月30日時点) は、753円/kg (前年比108.0%) と前年を上回った。	一		みた、 / 攻 ▽ /河J /下江/中でよ、U/J でよと11.0 ン(円)UJ.U /U//、1/J でよしまい ン(円30.3 /U// 円) 十.6 円.つ く]正7タ シ のり ^ ノ にんり / いる。										\	
速報値 後日は、消費者の節約志向や季節的要因から消費が鈍ったものの、昨年の猛暑による影響から生産性の低下に加え、疾病等の発生により出荷頭数が減少したことで、 一字	\vdash													
## 表示								暦年			暦年			
大皮肉 2.予測 R6年7月 R6年7月 R6年7月 R6年3月 R6年3月 R6年3月 R6年3月 R6年3月 R6年3月 R6年3月 R7月24		速報値							チウ	前年比		円/kg	前年比	
R4年 368.5 97.4 R5年7月 R6年7月 R6年7月 R6年3月 R6年3月 R6年3月 R6年3月 R6年3月 R6年3月 R6年4月 R6年5月			需給がひっ迫し、枝肉が不足する業者等により食肉市場での購買が増加したことから相場は急騰したため、前月・前年を上回った。					R2年	376.7	101.5	R2年	561	106.9	
R6年7月 学校給食が終了し、需給が緩和されることが想定されるものの、輸入豚肉の価格上昇や先述した出荷頭数の件から需給が引き締まり強含みで推移すると見込まれる。 R5年 336.4 91.5 R6年 1月 24.9 96.6 R6年 3月 26.8 93.5 R6年4月 613 109.1 R6年 3月 30.7 108.7 R6年5月 714 111.0 R6年5月 71	枝							R3年	379.4	100.6	R3年	546	97.3	
R6年7月 学校給食が終了し、需給が緩和されることが想定されるものの、輸入豚肉の価格上昇や先述した出荷頭数の件から需給が引き締まり強含みで推移すると見込まれる。 R5年 336.4 91.5 R6年 1月 24.9 96.6 R6年 3月 26.8 93.5 R6年4月 613 109.1 R6年 3月 30.7 108.7 R6年5月 714 111.0 R6年5月 71	肉	2.予測							368.5	97.4	R4年	582	107.0	
場 R6年 1月 24.9 96.6 R6年3月 550 96.0 R6年2月 26.8 93.5 R6年4月 613 109.1 R6年3月 30.7 108.7 R6年5月 714 111.0	相								1					
R6年 2月 26.8 93.5 R6年4月 613 109.1 <相場予想:東京市場、税込み> 5月実績 6月速報値 7月予測 8月予測 8月予測 R6年3月 30.7 108.7 R6年5月 714 111.0	場	, ., ,	l						1 1					
<相場予想:東京市場、税込み> 5月実績 6月速報値 7月予測 8月予測 R6年 3月 30.7 108.7 R6年5月 714 111.0									1 :					
			<相場予想・東京市場 穏込み>	5月宝績	6月凍報値	7月予測	8月予測		1 :					
L T20 CHI T PL									1					
			【工物】(削于比)	111 1/ vg (111.0 /0)	1001 1/ VR (100.0 \0)	100 1/ Ng (114.7 /0)	1901 1/ vg (107.0 \0)	KO牛 4月	29.6	106.9	R6年6月速報値	753	108.0	